すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2019
平成31年
4-20
No.560

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート

長野市　松代城址
「早春の鷹狩り」

信州は平安の昔から「鷹狩り文化の聖地」。また江戸時代には将軍家はじめ各大名の鷹狩り用のタカの徴発地としても名を馳せていました。
先般、自らも鷹狩りを愛した真田信之公ゆかりの地で、長野県立大学主催による鷹狩りの実演が開催され、諏訪流放鷹術保存会の鷹匠とタカが披露する技に多くの観客が見入っていました。

■ 長野しんきん 景況調査レポート ……2
■ 企業アンケート 外国人雇用 ① ……6
■ 生活者アンケート 外国人労働者の受け入れ ① ……9
■ 北信濃　江戸時代の風景 (56) 丹波島の渡し ……10

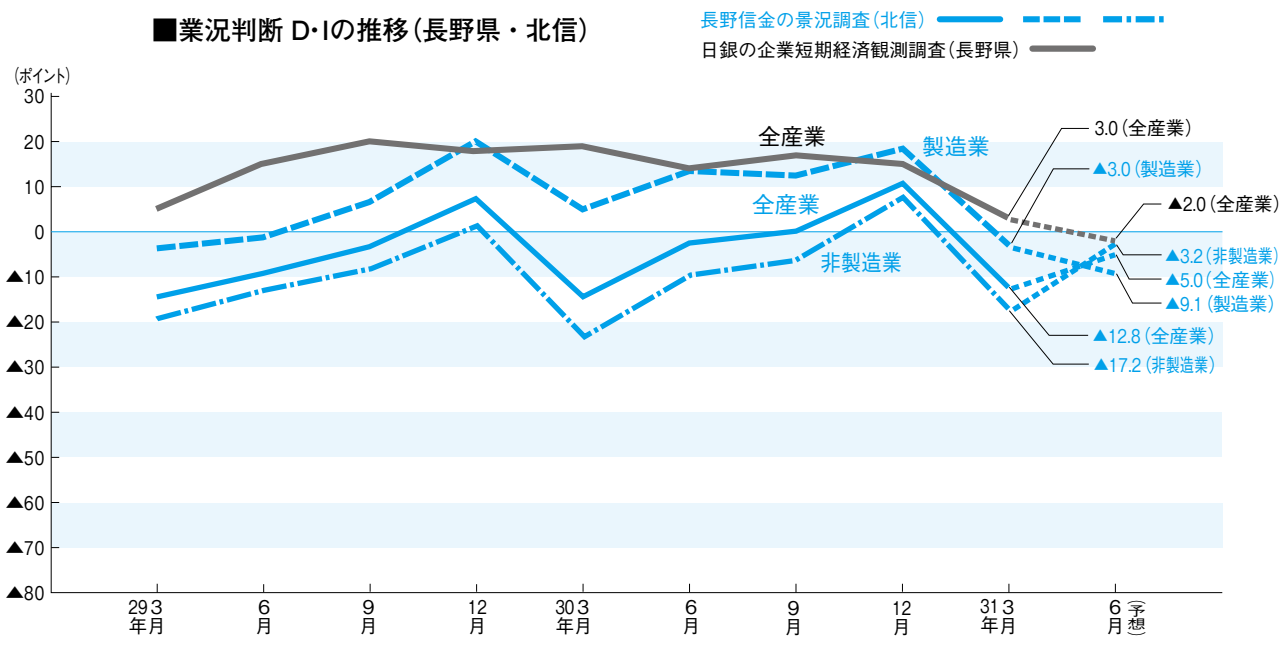
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます 長野信用金庫について

長野信用金庫

景況調査レポート　概　況（第175回景況アンケート調査）

◆長野県北信地区◆2019年１～３月期…景気の現状 ◇2019年４～６月期…景気の見通し

■業況判断 D･Iの推移（長野県・北信）



D･I指数は、業況について「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値（四半期ごとに実施する景況アンケートに基づく）

全産業+11 → ▲13　製造業･非製造業ともに悪化

2019年１～３月期の業況判断Ｄ･Iは、全産業で24ポイント悪化して▲13となりました。製造業は22ポイント悪化の▲３、非製造業は25ポイント悪化の▲17です。

2019年４～６月期の全産業の業況判断Ｄ･Ｉ（予想）は、８ポイント改善の▲５となりました。

◆北信地区の１月～３月期の業況判断Ｄ･I

	前期	今期	来期（予想）
全産業	+11 →	▲13（24ポイント悪化）	→ ▲５
製造業	+19 →	▲３（22ポイント悪化）	→ ▲９
非製造業	+８ →	▲17（25ポイント悪化）	→ ▲３

非製造業+8 → ▲17　3業種ともに悪化

非製造業の**業種別業況判断Ｄ･I**は、建設業が▲５（前期比▲17ポイント）、卸小売業が▲27（同▲33ポイント）、サービス業が▲24（同▲26ポイント）となり、３業種ともに悪化しています。

◆非製造業の業種別業況判断D･I

	前期	今期	来期（予想）
非製造業	+８ →	▲17（25ポイント悪化）	→ ▲３
建設業	+12 →	▲５（17ポイント悪化）	→ +17
卸小売業	+７ →	▲27（34ポイント悪化）	→ ▲11
サービス業	+２ →	▲24（26ポイント悪化）	→ ▲22

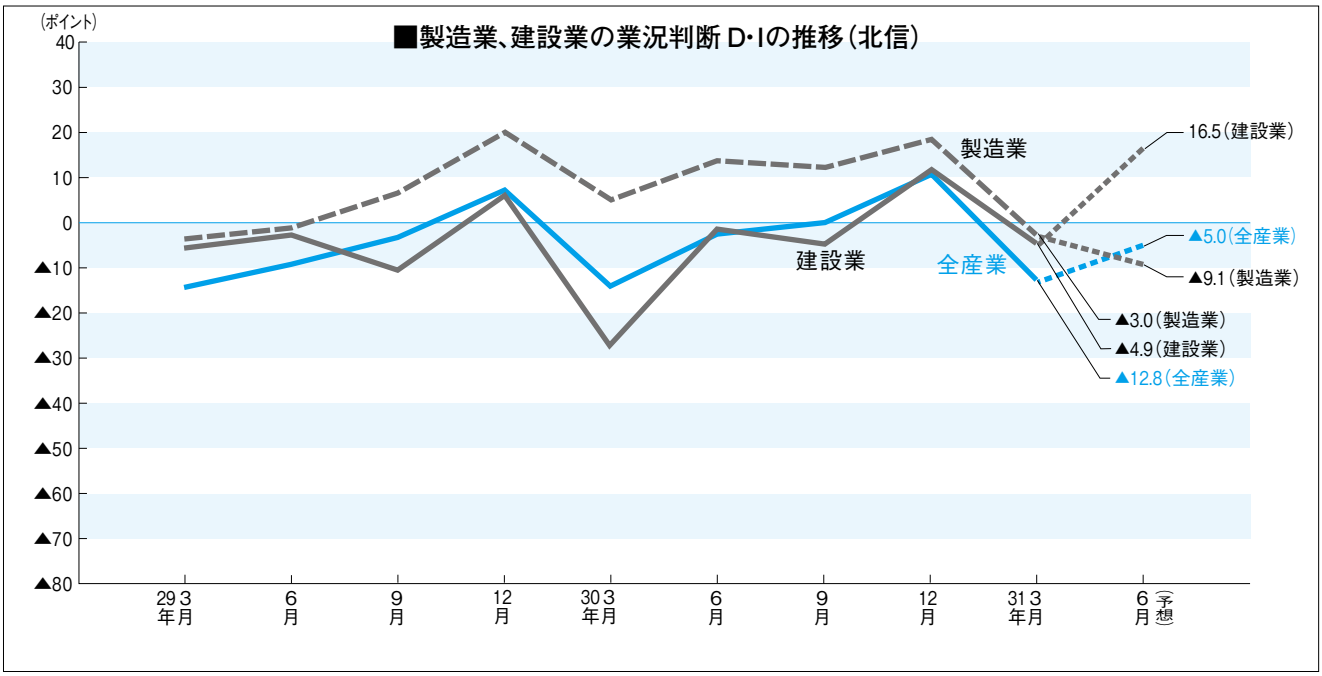
◆売上高D･Iと収益判断D･I

	売上高D･I（「増加」－「減少」）		収益判断D･I（「増益」－「減益」）	
	前期	今期	前期	今期
全産業	+14 →	▲25（悪化）	+５ →	▲27（悪化）
製造業	+２ →	▲33（悪化）	▲２ →	▲28（悪化）
非製造業	+20 →	▲21（悪化）	+７ →	▲26（悪化）

●北信地区の業況判断 D･Iの推移

	30年6月	9月	12月	31年3月	6月（予想）
全産業	▲2.5	±0.0	+10.8	▲12.8	▲5.0
製造業	+13.8	+12.3	+18.5	▲3.0	▲9.1
非製造業	▲9.5	▲6.1	+7.6	▲17.2	▲3.2

［調査要領］
●調査実施……平成31年３月
●調査対象企業（回収）
　製造業……70社
　建設業……62社
　卸小売業……46社
　サービス業……46社
　合計……224社
●回収率……83.9%
●従業員規模
　30人未満……73.7%
●分析……D･I判断指数を中心に分析



製造業の景況

22ポイント悪化して▲3に、来期も悪化の予想

製造業の**１～３月期**の業況判断Ｄ･Ｉは▲３で、前期（＋19）に比べ22ポイント悪化となりました。**４～６月期**は今期より６ポイント悪化の▲９の予想です。

	（前期）	10～12月期	＋19
◆業況判断D･I	（今期）	１～ 3月期	▲ 3
	（来期）	４～ 6月期	▲ 9（予想）

◇業種別業況判断D･I

改　善	電気機械･自動車部品
悪　化	食料品･金属加工･一般機械･精密機械

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲28（26ポイント悪化）

「増益」割合	前期 19％	→ 13％（ 6ポイント減少）
「減益」割合	前期 21％	→ 41％（20ポイント増加）

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期 46％	→ 47％（１ポイント増加）
「収支トントン」	前期 42％	→ 41％（１ポイント減少）
「赤字」	前期 12％	→ 12％（横 ば い）

企業からのコメント

☆★来年４月の原産地表示等の問題が今後の課題。販売品によっては、業界内でも相違するケースがかなり出てくる。（農産品製造）

☆★４月から一部製品を５％程度値上げ。（みそ製造）

★新型の開発ラッシュでメンテナンスが大変。改元や消費税増税など行末が心配。（コンプレッサー製造）

★☆基板加工分野はスマホ等中国からの冷え込みにより低調。その他の分野は堅調に推移。（電子部品）

建設業の景況

17ポイント悪化して▲5に、来期は改善の予想

建設業の**１～３月期**の業況判断Ｄ・Ｉは▲５で、前回（＋12）に比べ17ポイント悪化しています。**４～６月期**は今期より22ポイント改善の＋17の予想です。

	（前期）	10～12月期	＋12
◆業況判断D･I	（今期）	１～ 3月期	▲ 5
	（来期）	４～ 6月期	＋17（予想）

◇業種別	総合建設	前期 ＋10 → ± 0（10ポイント悪化）
	土木工事	前期 ▲ 7 → ▲18（11ポイント悪化）
	建　　築	前期 ＋26 → ± 0（26ポイント悪化）
	各種設備	前期 ＋25 → ＋18（ 7ポイント悪化）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲20（29ポイント悪化）

「増益」割合	前期 22％	→ 10％（12ポイント減少）
「減益」割合	前期 12％	→ 30％（18ポイント増加）

◆現在の採算状況…悪化

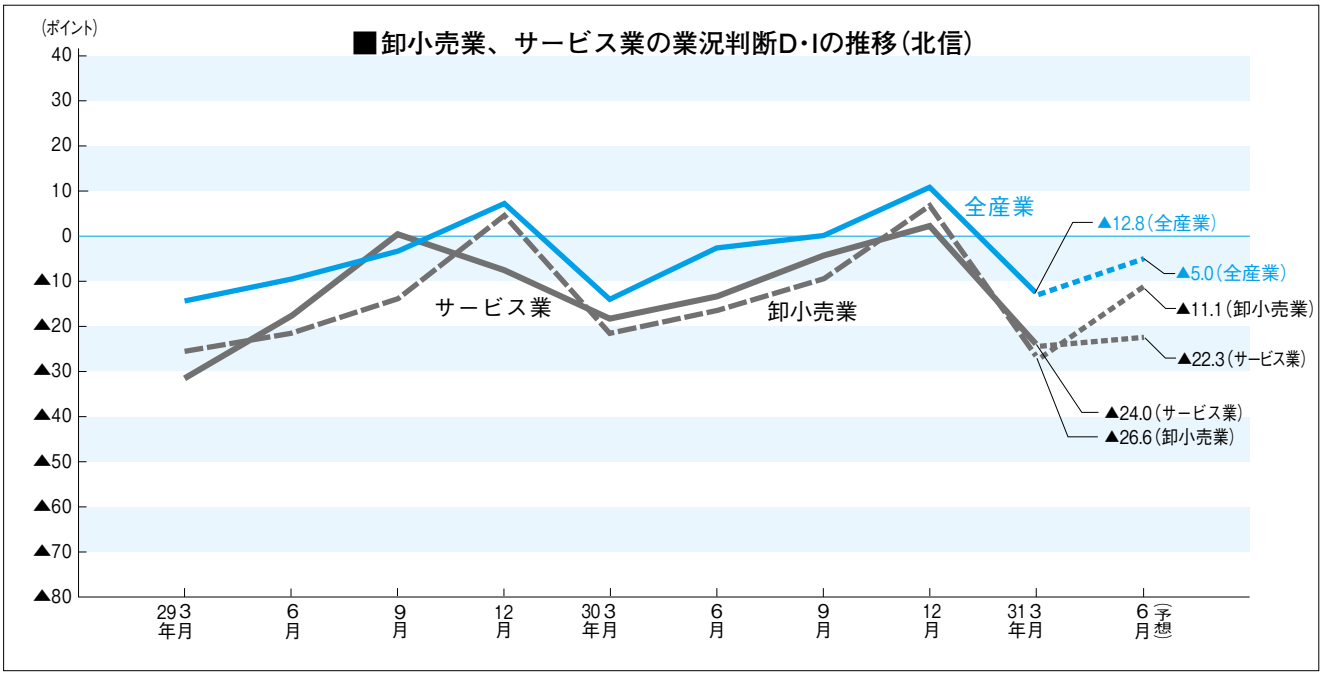
「利益確保」	前期52％	→ 48％（４ポイント減少）
「収支トントン」	前期43％	→ 44％（１ポイント増加）
「赤字」	前期 5％	→ 8％（３ポイント増加）

企業からのコメント

☆★10月の消費税増税に向けて住宅建設に勢いがあるが、その先の仕事の減少が心配。（総合建設）

☆★消費税増税に伴う需要増は現段階ではない。施主さんも迷っているのではないか。（屋根板金）

☆★来年にかけての引合いが県外から多くなっている。現状を分析し全社的に人員配置を再検討。（内装）



卸小売業の景況

業況は34ポイント悪化の▲27、来期は改善の予想

卸小売業の**１～３月期**の業況判断D･Iは▲27で、前回（＋７）に比べ34ポイント悪化しました。**４～６月期**の業況判断D･Iは16ポイント改善の▲11の予想です。

	（前期）	10～12月期	＋ 7
◆業況判断D･I	（今期）	1～ 3月期	▲27
	（来期）	4～ 6月期	▲11（予想）

◇業種別 卸売業	前期 ＋28 →	▲40%（68ポイント悪化）
小売業	前期 ▲ 8 →	▲16%（ 8ポイント悪化）

◆収益判断D･I（「増益」－「減益」）…▲33（48ポイント悪化）

「増益」割合	前期26% →	13%（13ポイント減少）
「減益」割合	前期11% →	46%（35ポイント減少）

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」	前期35% →	40%（５ポイント増加）
「収支トントン」	前期52% →	44%（８ポイント減少）
「赤字」	前期13% →	16%（３ポイント増加）

企業からのコメント

☆消費税増税を意識した顧客が多くなってきている。
（自動車・バイク・自転車販売整備）

★冬物衣料品があまり売れなかった。季節物商品という概念が薄くなってきている。（婦人服小売）

★コンビニスイーツの影響で洋菓子が売れない。贈答用まとめ買いも減ってきている。（洋菓子製造販売）

★葉物野菜の価格は安定しているが、総じて購入単価の低下が目立つ。（生鮮食料品小売）

サービス業の景況

業況は26ポイント悪化の▲24、来期は改善の予想

サービス業全体の**１～３月期**の業況判断D･Iは▲24で、前回（＋２）と比べ26ポイント悪化しました。業種別では、不動産だけが改善しています。

４～６月期の業況判断D･I（予想）は２ポイント改善の▲22です。

	（前期）	10～12月期	＋ 2
◆業況判断D･I	（今期）	1～ 3月期	▲24
	（来期）	4～ 6月期	▲22（予想）

◇業種別業況判断D･I

サービス	前期 ＋20 →	▲14（34ポイント悪化）
輸送	前期 ＋14 →	▲33（47ポイント悪化）
タクシー	前期 ± 0 →	▲67（67ポイント悪化）
運輸	前期 ＋20 →	▲17（37ポイント悪化）
外食	前期 ＋ 9 →	▲44（53ポイント悪化）
観光	前期 ± 0 →	▲56（56ポイント悪化）
不動産	前期 ▲18 →	＋17（35ポイント改善）

企業からのコメント

☆★１～３月期は引越の特需があり前期より良かったが、４～６月期は10連休がマイナス要因。（運送）

☆★消費税増税は仕方がないが、あくまでもシンプルに。ポイント還元等は問題外である。（飲食）

☆予約業務を始め各種施設でもＩＴの導入が進んでいる。インバウンド等で宿泊者数は増加傾向。（旅館）

★不動産業務の中で、特にアパート管理の売上が減少している。（不動産）

雇用情勢　1～3月期

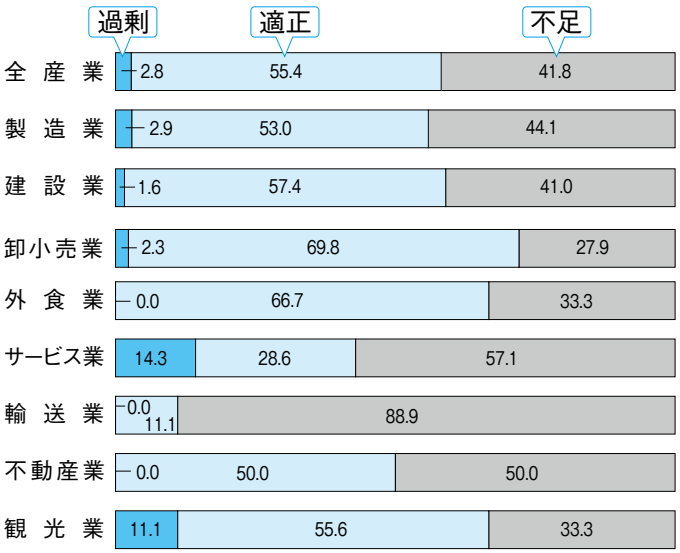
観光・外食が改善、サービス・輸送は悪化

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲39となり、前回（▲42）より3ポイント改善していますが、依然として不足の状態です。

雇用情勢　（「過剰」－「不足」）

業　　種	前期（10～12月）	今期（1～3月）
全産業	▲42.1	▲39.0
製造業	▲39.3	▲41.2
建設業	▲44.1	▲39.4
卸小売業	▲30.4	▲25.6
外食業	▲45.5	▲33.3
サービス業	▲33.3	▲42.8
輸送業	▲85.7	▲88.9
不動産業	▲54.6	▲50.0
観光業	▲54.5	▲22.2

従業員の過不足感（%）



（資料：当金庫）

資金繰り　1～3月期

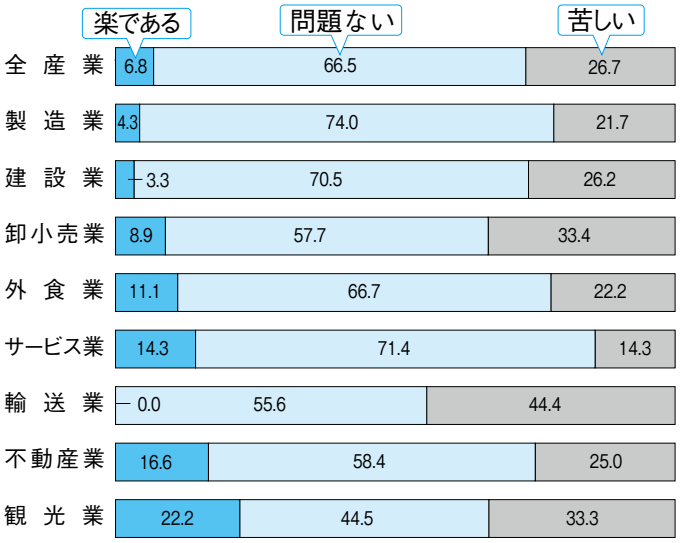
観光・外食が改善、サービス・輸送は悪化

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲20となり、前回（▲16）より4ポイント悪化しています。

資金繰り　（「楽である」－「苦しい」）

業　　種	前期（10～12月）	今期（1～3月）	来期（4～6月）
全産業	▲16.4	▲19.9	▲21.1
製造業	▲20.6	▲17.4	▲21.8
建設業	▲13.6	▲22.9	▲19.4
卸小売業	▲15.6	▲24.5	▲17.8
外食業	▲18.2	▲11.1	▲22.2
サービス業	▲16.7	± 0	▲14.3
輸送業	▲14.3	▲44.4	▲44.4
不動産業	＋ 9.1	▲ 8.4	▲ 8.4
観光業	▲36.4	▲11.1	▲44.5

資金繰り状況感（%）



（資料：当金庫）

販売価格動向　1～3月期

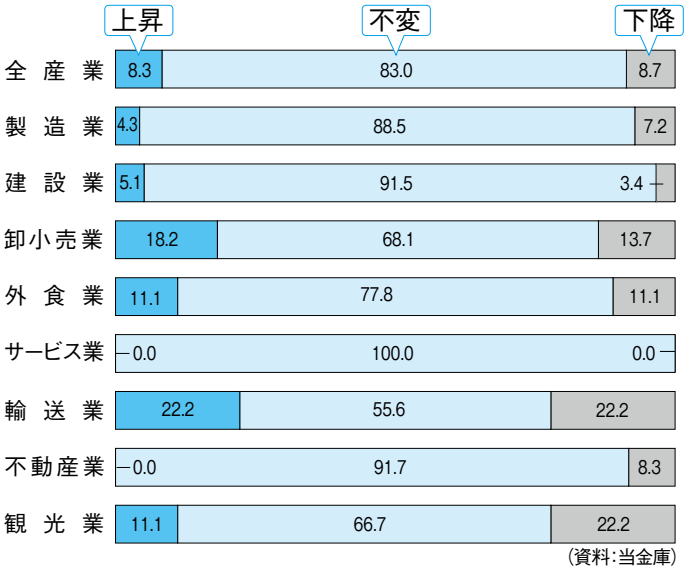
サービス・卸小売が上昇、輸送・外食・不動産は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で▲0.4となり、前回（±0）に比べ0.4ポイント下降しています。

販売価格動向　（「上昇」－「下降」）

業　　種	前期（10～12月）	今期（1～3月）	来期（4～6月）
全産業	± 0	▲ 0.4	＋ 4.6
製造業	▲ 3.1	▲ 2.9	＋ 1.4
建設業	± 0	＋ 1.7	＋ 5.0
卸小売業	± 0	＋ 4.5	＋11.1
外食業	＋ 9.1	± 0	＋22.2
サービス業	▲16.7	± 0	± 0
輸送業	＋42.9	± 0	± 0
不動産業	± 0	▲ 8.3	± 0
観光業	▲ 9.1	▲11.1	▲12.5

業種別販売価格動向（対前期）（%）



（資料：当金庫）

企業アンケート　**外国人雇用** ①　31年３月調査

「雇用している」10%
「過去に雇用したことがある」8%「雇用を検討している」2%

外国人の雇用　「雇用している」１割に対して「雇用していない」は８割、過去に「雇用したことがある」と「雇用を検討している」を合わせて１割でした。

外国人を雇用する理由　「人手不足の解消」が83%、続いて「真面目で勤労意欲が高い」が44%、「単調な仕事や早朝・深夜勤務、休日出勤等を嫌がらない」が26%となっています。

外国人の雇用
30人未満7%　30人以上20%

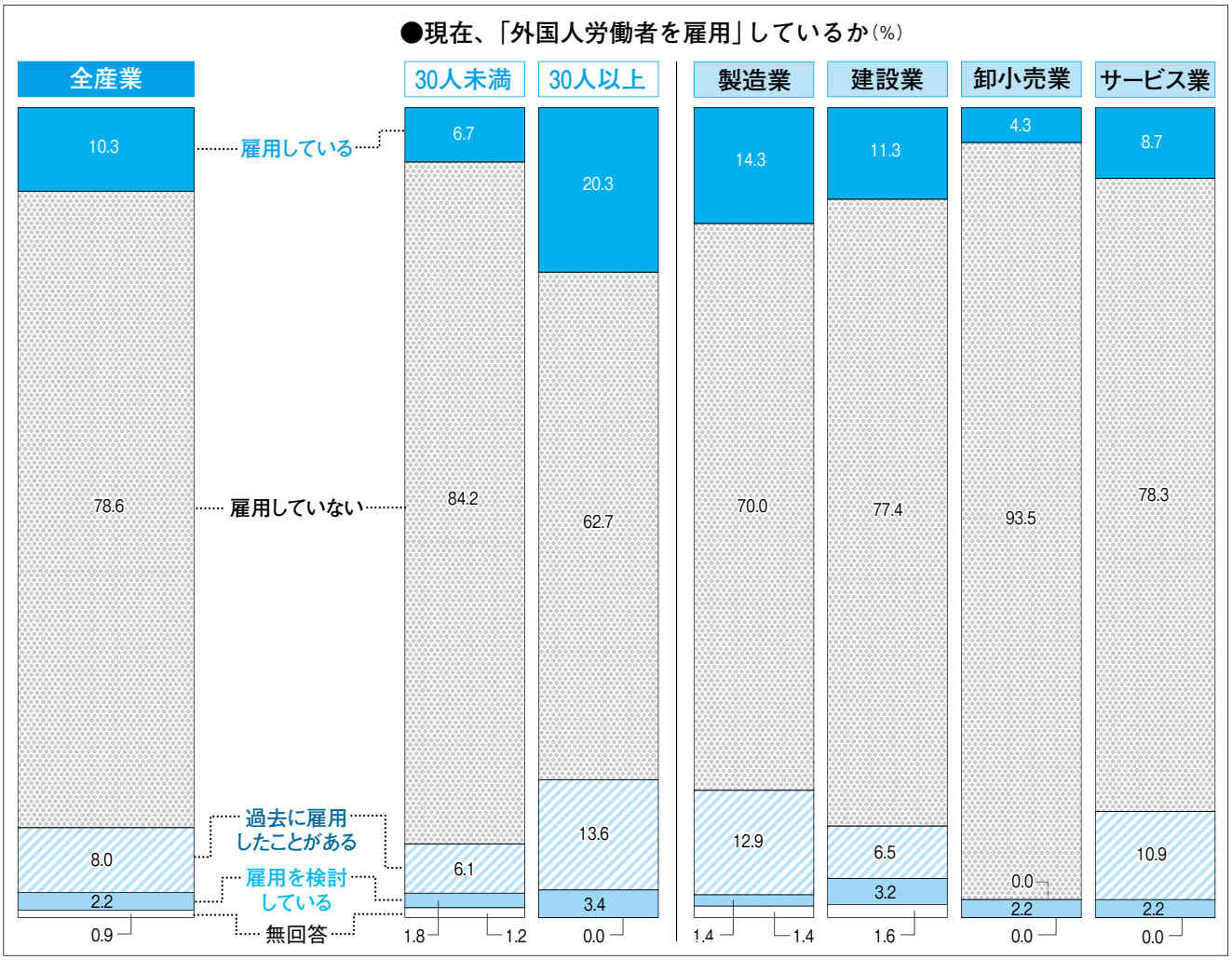
「**現在、外国人労働者を雇用しているか**」を聞きました。

「雇用している」10%に対して、「雇用していない」が79%、「過去に雇用したことがある」が８%、「雇用を検討している」が２%でした。

従業員規模で比べると、30人以上の「雇用している」は20%、「雇用したことがある」は14%で、30人未満のそれぞれ７%、６%に対して約３倍、約２倍、高くなっています。

業種別
製造14%、建設11%
サービス9%

製造業　「雇用している」(14%)と「雇用したことがある」(13%)は他業種に比べ最も高くなりました。



「雇用していない」(70%)と「雇用を検討している」(1%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業　「雇用している」(11%)は製造業に次いで高く、「雇用を検討している」(3%)は他業種に比べ最も高くなりました。

卸小売業　「雇用していない」(94%)は他業種に比べ最も高く、従って「雇用している」(4%)と「雇用したことがある」(0%)は他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業　「雇用していない」(78%)は卸小売業に次いで高いのですが、「雇用したことがある」(11%)は製造業に次いで高くなっています。

外国人を雇用する理由

「人手不足解消」83%
「真面目で勤労意欲が高い」44%
「職種や勤務形態を問わない」26%

「**外国人を雇用する理由**」を聞きました。

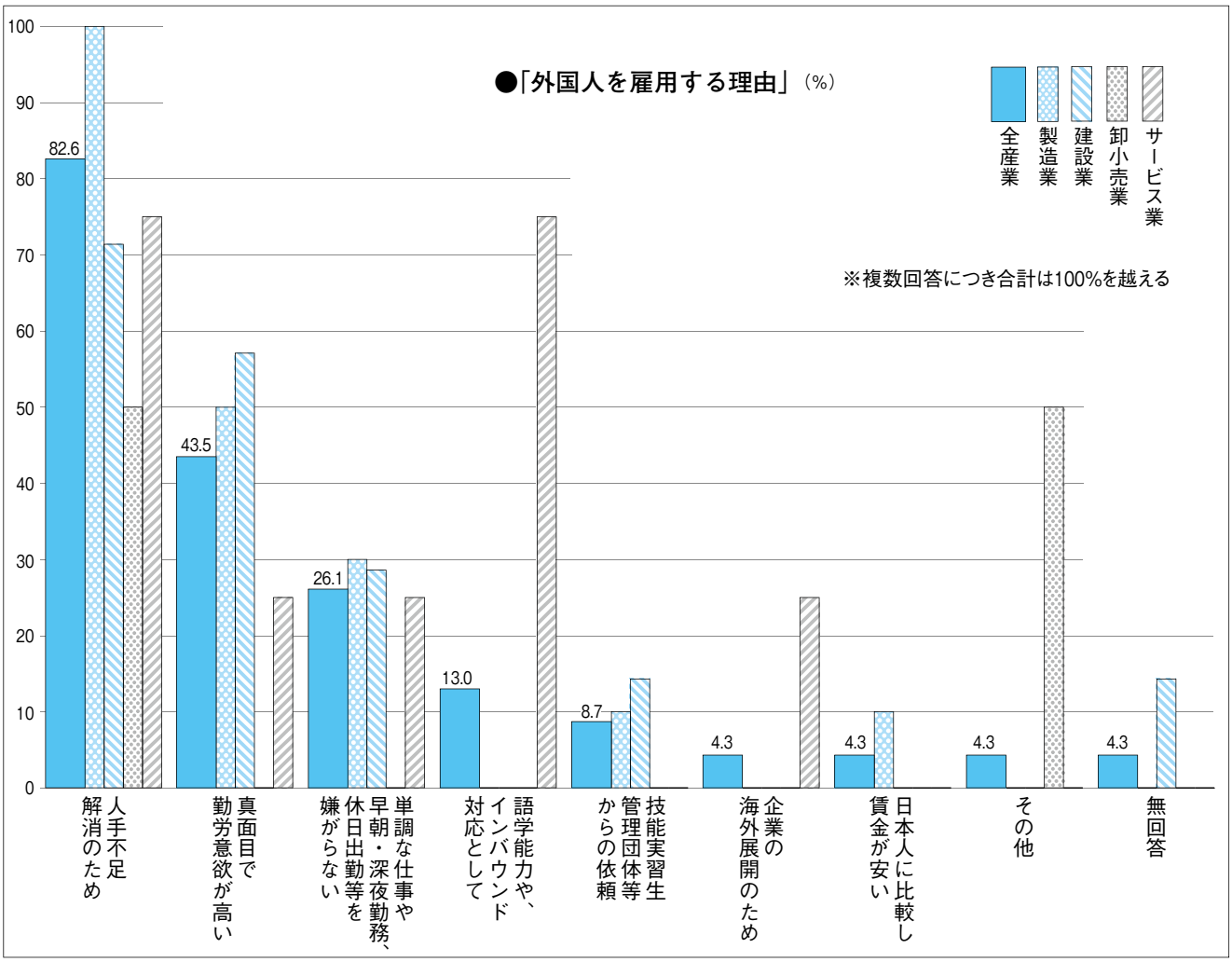
「人手不足解消のため」(83%)、「真面目で勤労意欲が高い」(44%)、「単調な仕事や早朝・深夜勤務、休日出勤等を嫌がらない」(26%)がトップ3で、「語学能力やインバウンド対応として」(13%)、「技能実習生管理団体等からの依頼」(9%)が10%前後となっています。

業種別

建設業「**真面目で勤労意欲が高い**」57%
サービス業「**語学能力やインバウンド対応**」75%

製造業　「人手不足解消」(100%)、「単調な仕事や早朝・深夜勤務、休日出勤等を嫌がらない」(30%)、「日本人に比較し賃金が安い」(10%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「語学能力やインバウンド対応」「企業の海外展開」は他業種に比べ最も低く(0%)なっています。

建設業　「真面目で勤労意欲が高い」(57%)、「技能実習生管理団体等からの依頼」(14%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「日本人に比較し



賃金が安い」「語学能力やインバウンド対応」「企業の海外展開」の理由を回答した企業はありませんでした。

卸小売業　「人手不足解消」(50%)と「その他」(50%・日本国籍取得し日本語ができる)以外はすべて0%で、他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業　「語学能力やインバウンド対応」(75%)と「企業の海外展開」(25%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方「日本人に比較し賃金が安い」と「技能実習生管理団体等からの依頼」は他業種に比べ最も低く(0%)なっています。

◇次号は「外国人が従事している職種」と「外国人雇用の苦労」を予定

[調査要領]
実施期日：2019年(平成31)3月上旬～中旬
実施企業：第175回景況アンケート調査に併記
調査企業：回収224社(製造業70社、建設業62社、卸小売業46社、サービス業46社)
うち従業員30人未満165社(73.7%)

「外国人雇用」に関する企業からのコメント

製造業

◇人手不足の解消には外国人雇用は最短だが、他従業員とのコミュニケーションや生活支援などの課題も多く、実際の雇用には踏み出せない。

◇製造業(食品)だと期間が1年なので、なかなか応募者がいない。法律が変わればいいが…。
(以上食料品)

◇パート従業員の給与制限が拡がり、人員不足は解消された。外国人採用の予定はない。(みそ製造)

◇小規模企業のため、受入環境の整備や教育訓練を考えると、実際の雇用にはハードルが高い。
(医療機器製造)

◇採用を検討したいが、役員の反対によって進展しない。(金属加工)

◇過去に外国人を採用したことはあるが、日本語が理解できず、様々なトラブルが発生した。
(樹脂製造)

◇かなり高度な技術力を要求されるため、外国人の採用は困難と考えている。(印版製造)

建設業

◇これだけ人手不足が続けば、外国人雇用を検討していくかもしれない。

◇今後、人手不足が深刻となれば、外国人採用を真剣に考える。状況を注視していきたい。
(以上総合建設)

◇過去に外国人を雇用したが、遅刻ばかりしていて、無断欠勤も多かった。

◇以前に外国人を雇用していたが、意思の疎通が非常に難しかった。

◇古風な考え方だと思うが、安く外国人労働者を使っている会社は信用できない。(以上土木工事)

◇技能実習生として現場にて実習中。(道路舗装)

◇インドネシア人を雇用しているが、真面目なうえ、他の従業員とも打ち解けて仕事をしている。

◇外国人を雇用しているが、住居の確保に苦労している。(以上鉄筋工事)

◇受け入れ企業の雇用目的(人手不足の解消、賃金抑制など)を明確にする必要がある。(内装工事)

卸小売業

◇外国人は、相当のスキルがないと販売接客は難しいので、研修制度を充実させなくてはならないと思う。(酒類小売)

◇未経験の人を採用しても、教育のノウハウや時間など、スタッフに余裕がないため、人を育てられない。(自動車販売・整備)

サービス業

◇言葉や地理の問題があって、外国人採用は難しい。

◇低賃金で人が集まらない飲食や宿泊、小規模の小売などは、賃金上昇にブレーキがかかり、ますます日本人の労働力確保が難しくなる。(以上運送)

◇外国人雇用に関する法律面の知識に疎く、またどこに相談したらよいかわからない。(飲食)

◇坂城町では雇用している企業が多いが、周囲の不安もあり当社は採用していない。(自動車整備)

◇外国人に関してはまだまだ偏見があり、採用には至らない。(板金)

◇実際に外国人を雇用しているが、来る人間によって仕事に対する姿勢や言語能力の差が大きく、仕事にならない人もいる。(旅館)

生活者アンケート 外国人労働者の受け入れ 31年3月調査

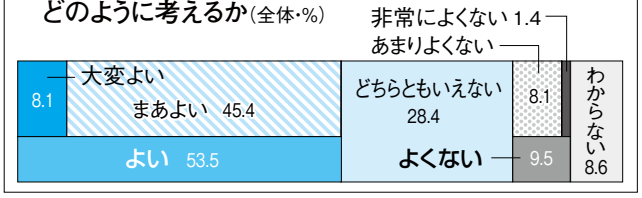
外国人労働者が増えることは… 「よい」54% 「どちらともいえない」28% 「よくない」10%

「地域や職場に『**外国人労働者が増える**』ことについてどのように考えるか」を聞きました。

「大変よい」と「まあよい」を合わせた［よい］と答えた人は54%、「あまりよくない」と「非常によくない」を合わせた［よくない］は10%、「どちらともいえない」は28%でした。

男女別で見ると、女性の［よい］57%、［よくない］５%に対して、男性の［よい］は52%、［よくない］は12%でした。**世代別**で見ると、［よい］は10～20代が高く70%、50代以上が低く42%となりました。［よくない］は50代以上が高く12%、10～20代が低く３%となっています。

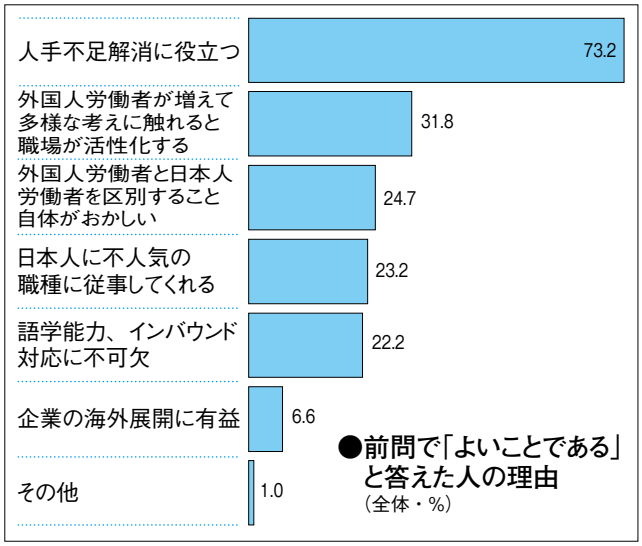
●地域や職場に「外国人労働者が増える」ことについてどのように考えるか（全体・%）



外国人労働者が増えると「よい」理由 「人手不足解消に役立つ」73%

前問で「**よいことである**」と答えた人に、その理由を聞きました。

「人手不足解消に役立つ」がトップで73%、以下「外国人労働者が増えて多様な考え方に触れると、職場が活性化する」（32%）、「外国人労働者と日本人労働者を区別すること自体がおかしい」（25%）、「日本人に不人気の職種に従事してくれる」（23%）、「語学能力、インバウンド対応に不可欠」（22%）、「企業の海外展開に有益」（７%）の順となりました。



［調査要領］
実施期日：2019年（平成31）３月上旬～中旬
実施場所：長野信用金庫本支店窓口
対 象 者：来店客370人（男性252人・女性118人）
調査要領：アンケート用紙に記述（無記名）

外国人労働者受け入れ に関する生活者からのコメント

◇労働者不足を補うために外国人の受け入れは必要。日本に来たい外国人が多くいるうちに進めないと、そのうちにだれも来なくなる。（20代男性）

◇外国人労働者を増やす前に、女性や高齢者など国内の労働力を活用する方が優先では…。（30代女性）

◇外国人労働者の雇用は、短期的な視点ではなく、長期的な視点で考えたほうがいいと思う。

◇外国人労働者であっても、有能な人材はたくさんいる。もっと拡大すべきである。（以上30代男性）

◇労働者不足がすべてマイナスではないと思う。コンビニなどの24時間営業が必要なのか、真の豊かさとは何かを考える時期では。（40代女性）

◇外国人労働者の雇用によって、日本人労働者の賃金低下や待遇の悪化を招かなければいいけれど…。

◇外国人労働者の雇用は、いろんな理由をつけても、結局安い賃金で単純労働をしてくれる人探しでしかないと思う。（以上40代男性）

◇日本人の労働人口が減少する中で、外国人が必要なことはわかるが、言語教育や受入態勢が十分でない中では外国人はかわいそう。日本の未来を考えるなら、元気なお年寄りや引きこもりの若者などの就労を考えるべき。（50代女性）

◇企業経営者は、外国人労働者の雇用で人手不足が解消されればいいだろうが、年金・医療・福祉にかかる社会的コストの増加分は誰が負担するのか。結局、血税が使われるだけでは。（50代男性）

◇公的機関が日本の生活習慣を教えてから外国人を就労させないと、問題が起きるだろう。（60代男性）

◇外国人労働者の雇用は、社会保障面で日本人の負担が増すのではないか不安である。（60代以上女性）

◇外国人の公的医療保険の適用問題が重要。国内に居住していない扶養家族の加入も認めるかが議論になるだろう。（60代以上男性）

北信濃　江戸時代の風景

（56）丹波島の渡し

長野郷土史研究会会長
小林　一郎

『地震後世俗語之種』

本年度は、『地震後世俗語之種』（国立国会図書館本）の挿絵を用います。これは権堂村の名主であった永井善左衛門幸一（1812～1865）が、弘化４年（1847）３月に起きた善光寺地震の体験を、子孫のために書き残した本です。絵が得意だった幸一は、その中にたくさんの挿絵を描いています。

この本は成立直後から注目されたらしく、子孫に伝えられた原本（長野市指定文化財）のほか、信濃教育博物館、真田宝物館等に写本が残っています。国立国会図書館本は真田宝物館本の写しとされています。

丹波島の渡しの絵

この「北信濃　江戸時代の風景」のシリーズでは、これまでにも第１回（『善光寺道名所図会』）と第42回（『北国一覧写』）で丹波島の渡しを取り上げてきました。このほか十返舎一九著の『戸隠善光寺往来』『続膝栗毛』等にも丹波島の渡しの絵が掲載されています。こうした丹波島の渡しの絵は、南側から見た光景を描くのが普通で、北側から見た絵はほとんど描かれていません。これは南から見ると山々や善光寺の遠景を背景に描くことができるという、構図の都合もあるのでしょう。

ともかく現在の丹波島橋付近にあった丹波島の渡しの光景が、これだけ様々な書物に描かれてきたのは、それだけ重要な場所であり、北国街道の名所だったからでしょう。

そうした中でこの『地震後世俗語之種』の丹波島の渡しの絵は、彩色画であるのが特色です。他の絵は木版印刷の挿絵やスケッチで、彩色されていないのです。また大勢の人物が描かれており、江戸時代の風俗を知る上で貴重な資料になっているのが『地震後世俗語之種』の挿絵です。原本には２種の丹波島の渡しの絵があり、国立国会図書館本

丹波島の渡しの絵「犀川渡船の略図」（国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より）

にはその中の１つの絵（「犀川渡船の略図」）だけが掲載されていますが、対岸に点のように描かれた人物を除くと、この絵にはちょうど50人の人物が描かれています。馬は５頭います。

犀川堤防道路脇の丹波島の渡しの碑。背後に丹波島橋が見える。

丹波島の渡しの構造

この絵によって、江戸時代の丹波島の渡しの実態を見てゆきましょう。３本の高いポールがあって、それぞれのポールからたくさんのロープが垂れているように見えます。これはそれぞれのポールを周囲から張ったロープによって支えているのです。この絵では見えませんが、ポールとポールの間には太い綱が渡されていて、船頭は渡し舟の先頭でこの綱をたぐって舟を対岸に渡すのです。

丹波島の渡しを詠んだ「はや川を舟でむかうへ渡辺の綱ひとすぢをたよりなりけり」（『続膝栗毛』）という狂歌は、そうした情景を渡辺綱（わたなべのつな）という歴史上の人名を掛詞（かけことば）にして巧みに歌っています。

大きな瀬（川の流れ）は２または３か所あって、それぞれに渡し舟がありました。ほかに小さな瀬も２か所ほどあって、それらには小橋が架けられていました。この絵では、手前に２つの小橋があって、その先に複数の渡し場があるようです。こうした大小の瀬は増水のたびごとに変化するもので、この絵の右下にはたくさんの杭が頭を出していますが、これも以前の小橋の跡でしょう。

絵の右上には、整然と材木が立っているのが見えます。これは小橋に使う用材でしょう。増水のたびに小橋は流されてしまうので、架け替えるのです。建てられたポールの向こうにある小屋は、船頭が休憩などに用いる小屋です。

日傘

通行する人々の風俗で気付くのは、日傘をさした女性が７名も描かれていることです。これは『地震後世俗語之種』の他の絵でも見られます。テレビや映画の時代劇ではほとんど見る機会がないのですが、現代のように洋傘ではなく和傘が使用されていた江戸時代でも、都会・地方を問わず日傘を愛用する女性は多かったようです。小林一茶には日傘を詠んだ句が30句以上もあります。

この絵には、円を描いたいわゆる蛇の目傘が３つ描かれていますが、原本では普通の傘として描かれています。

運ぶ人

街道は人が歩くとともに、物資が移動する道でもあります。この絵には、馬で運ぶ、背負う、天秤棒で担ぐなど、様々な運ぶ姿が描かれています。背負う人には背負子（しょいこ）で俵を背負った人、「南無阿弥陀仏」と書かれた仏像が入っているらしい厨子（ずし）を背負った人、川を流す筏（いかだ）らしい長大なものを背負った人などが描かれています。

天秤棒で前後に同じ荷物を提げて行く人が２人いますが、後の人は商人のようです。

５月号は「石堂」の予定です。

写真／往生地浄水場： 大正４(1915)年竣工。長野市の水道創設事業で建設された市内最古の浄水場であり、後の水道普及に大きく貢献し、建設後100年経った今も稼働しています。2017年に公益社団法人土木学会、選奨土木遺産に指定されました。(長野市往生地)

●みなさまの経営相談のご案内［5月］

(注)上の店名は開催場所、下の(　)内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
5月 9日	木	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	5月 24日	金	若穂支店	飯山支店 (山ノ内支店)
13日	月	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	27日	月	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	小布施支店 (中野支店)
16日	木	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	28日	火	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
17日	金	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	29日	水	本店営業部	
21日	火	大豆島支店 (長池支店)		30日	木	本部	
23日	木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	31日	金	本部	

●５月の「しんきん事業相談会」は５月８日㈬です

長野信用金庫　総合企画部
本店　〒380-8686　長野市居町 133-1　TEL 026-228-0221㈹
長野信用金庫　URL http://www.nagano-shinkin.jp/